

第 1 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 5 月 1 2 日 (木曜)		午後 1 時 3 0 分 開会	
	休 憩 13:38-14:00 14:12-13 14:25-26			
	午後 2 時 5 8 分 閉会			
	休憩時間： 0 時間 2 4 分		会議時間： 1 時間 0 4 分	
会 議 場 所	3 階委員会室<オンライン出席委員 (O) >			
出 席 委 員 氏 名	委員長	渡辺洋一郎	委 員	正村紀美子
	副委員長	黒田 栄継	委 員	堀切 忠
	委 員	常通 直人	委 員	橋本和仁 (O)
	委 員	西尾一則(O)		
	委 員	柴田正博(O)		議長 早苗 豊
説 明 員	健康福祉課長	大野 邦彦	同課長補佐	側瀬 美和
	同保健推進係長	吉川 泰子	同国保医療係主査	塩原勢津子
	同保健推進係主査	竹内 名恵		
	同保健推進係主査	中元 麻実		
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田 瑞紀		
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長が開会を告げ、当委員会はオンライン会議（議会委員会条例第 1 3 条の 2）である旨を説明し、3 委員（西尾・柴田・橋本）及び議長のオンライン出席を報告した後、事務局から本日の委員会の日程を説明する。 <p>2 議 件</p> <p>(1) 調査事項</p> <p>ア 新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について 資料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉課長：資料説明<令和 3 年度第 26 回厚生文教常任委員会（令和 4 年 4 月 14 日）以降、主な変更事項の説明（資料中朱書箇所）。4 回目追加接種の予定、全体の接種状況（5 月 9 日現在）>。 ・委員長：意見・質疑はないか？ ・柴田委員：4 回目の接種について伺う。対象者の中で障がい者の対応について、各施設では苦慮しているやに聞く。基礎疾患の認知や判断に苦慮しているようだが、この対応は？ ・課長：障がいの区分に応じて、当事者（家族・当該施設含む）の希望を尊重するなど、広義的な解釈を基に対応に努めている。 				

- ・柴田委員：(当事者や家族の) 接種希望を尊重した対応と理解して良いか？
- ・課長：お見込みのとおりである。
- ・正村委員：4回目の接種に想定される人数は？また、接種方法の工夫は？
- ・課長：60歳以上が5,900人程度。基礎疾患は全人口の約8%とみなしている。このことから、本町では概ね基礎疾患数は1,000人。合わせて7,000人程度。接種方法の対応は従前を基本(公立病院と開業医)に柔軟に対応したい。
- ・正村委員：3回目の接種について、5月になって予約が低迷しているとのこと。余剰ワクチンについて気になるところだが、破棄の実績は？
- ・課長：破棄の定義は、バイアル(数人分のワクチン容量)全体の破棄を指す。現状、芽室町においては実績なし。
- ・正村委員：ワクチンの今後の(過不足の)見通しは？
- ・課長：在庫のワクチンを4回目の接種に使用できるため、有効に活用する。
- ・堀切委員：ワクチン接種推奨の取組み予定は？
- ・課長：国と道との連携に基づいた行動を尊重している。感染予防から重症化予防の動きに重視事項が移りつつある。
- ・堀切委員：5～11歳への対応は？
- ・課長：子育て支援課との連携により、リスクと効果などの情報提供にきめ細かく努めていく。
- ・常通委員：3回目接種の目標時期は9月末日で変わらないか？
- ・課長：今後の国の動きを注視し、連動して対応していきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 令和4年度芽室町国民健康保険税率等について 資料2

- ・課長：調査事項の概要(毎年6月改正)と背景説明。資料説明は担当主査からの旨を告げる。
- ・国保医療係主査：資料説明<①現行税率と改正後税率の比較、②未就学児均等割軽減、③モデル世帯の年税額比較>
- ・委員長：質疑はないか？
- ・堀切委員：コロナの影響で減収となったケースについて伺う。その資料がないのは？
- ・課長：令和2、3年度と同様のことから資料を割愛した。
- ・堀切委員：未就学児軽減の該当世帯は？
- ・主査：154名。120世帯。
- ・堀切委員：国保の総世帯数は？
- ・主査：2,405世帯。令和4年3月時点である。
- ・堀切委員：コロナ禍等の影響により、生活が厳しい世帯も少なくない。町独自の軽減策の検討はしたか？
- ・課長：国の指針を前提に、国保会計の健全化を重視している。今回の調査事項に係る町独自の軽減策は検討していない。

- ・委員長：他にないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ 厚生文教常任委員会所管事務調査について 当日資料3

- ・委員長：前回委員会（第27回委員会：R4.4.25）で共通認識を図った所管事務調査について、各委員から提出のあった資料を調査事項とする。本日は、提出委員から論点の説明をいただき、それを踏まえて、改めて、正副委員長で調査事項の可否や調査時期を決定したい。この手順について異議はないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：各委員から論点の説明を求める。
- ・(各委員から提出資料に基づいて「論点」の説明。黒田、橋本、堀切、正村、西尾、常通委員の順に説明。)
- ・委員長：委員間で説明内容に対する質疑はないか？
- ・(質疑なし)
- ・常通委員：それぞれ重要な要素が含まれているため、タイムリーに調査ができることを希望する。
- ・委員長：各委員から提出された全事業を調査対象としたい。なお、調査時期や手法については、冒頭で申し上げたとおり、正副に一任いただきたい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：調査事項「ウ」を終了する。

- ・委員長：自由討議についてお諮りする。調査事項「ア」について、いかがか？
- ・常通委員：これまで同様に、月1回程度、定期的に継続調査すべきと考える。
- ・委員長：調査を継続することで異議ないか？
- ・(異議なし)

- ・委員長：調査事項「イ」について、いかがか？
- ・(意見なし)
- ・委員長：自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・委員長：正副一任で良いか？
- ・(異議なし)

(2) その他

- ・委員長：各委員からないか？(なし)
- ・(なし)

- ・委員長：議長からないか？（なし）
- ・議長：第 1 回目の委員会開催となった。今年度の所管事務調査事項について議論があったが、これまでの経過を尊重した事務事業調査も念頭に置いて取り組んでいきたい。
- ・委員長：事務局からないか？（なし）

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年5月12日

厚生文教常任委員会委員長 渡辺 洋一郎